

**【相双地域】**

地域医療の在り方に関する  
住民アンケート調査  
結果報告書  
(公表版)

平成 23 年 1 月

福島県保健福祉部地域医療課

## 目 次

1	調査概要	2
(1)	調査目的	2
(2)	対象者・調査方法・調査内容	2
(3)	調査期間	2
(4)	回収状況	2
(5)	調査票及び図形の見方	2
2	調査結果	3
(1)	回答者の属性	3
(2)	医療満足度	5
(3)	病院・診療所の利用状況	8
(4)	地域医療に対する意識	12
(5)	事業認知度	14
3	資料	15

## 1 調査概要

### (1) 調査目的

このアンケートは、相双地域の住民の皆様が日ごろ感じられている地域の医療体制や医療ニーズ、地域医療の現状認識、事業の認知度等を把握するために実施したものである。

なお、調査結果については、ホームページで公表するとともに、地域医療再生計画の進行管理及び各種施策に反映できるように努める。

### (2) 対象者・調査方法・調査内容

#### ア 対象者

平成 22 年 9 月 1 日時点において、相双地域の市町村に住所を有する 20 歳以上の男女 800 人

#### イ 抽出方法

層化二段無作為抽出法

#### ウ 調査方法

郵便による発送及び回収

#### エ 調査内容

(ア) 回答者の属性

(イ) 医療満足度について

(ウ) 病院・診療所の利用状況について

(エ) 地域医療に対する意識について

(オ) 事業認知度について

### (3) 調査期間

平成 22 年 9 月 30 日から平成 22 年 10 月 20 日まで

### (4) 回収状況

回収数 368 件 (うち有効回答数 368 件)

回収率 46.0%

### (5) 調査票及び図形の見方

回答結果のグラフは、有効回答数 368 を基準に百分率 (%) で示してある。それぞれの質問に対する回答数を  $n$  と表記してある。それぞれ回答数が違うため、 $n$  の値に差異がある。

なお、S A は単一回答、N A は複数回答を意味する。

% については、小数点以下第 2 位を四捨五入して、小数点以下第 1 位まで表記した。したがって、合計が必ずしも 100.0% にならない場合がある。複数回答が可能な質問の場合については、合計が 100.0% を超える場合がある。

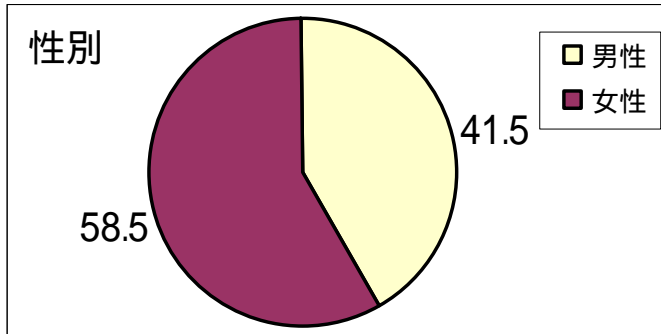
## 2 調査結果

### (1) 回答者の属性

#### ア 性別

性別は、「女性」が 58.5%、「男性」が 41.5%となった。

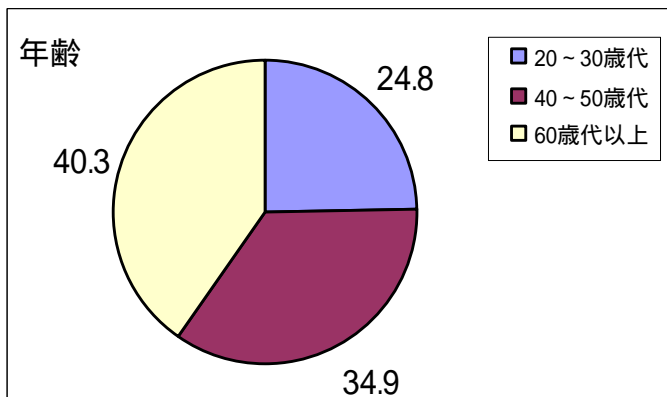
年代別では、「80 歳代以上」でのみ「男性」の回答が上回っているが、それ以外の世代では女性の回答が多かった。地域別では、「新地町」、「飯館村」、「葛尾村」で男性の回答が上回り、それ以外の地域では女性の回答が多かった。(SA、n=366)



#### イ 年齢

年齢は、「20～30 歳代」が 24.8%、「40～50 歳代」が 34.9%、「60 歳代以上」が 40.3%となった。

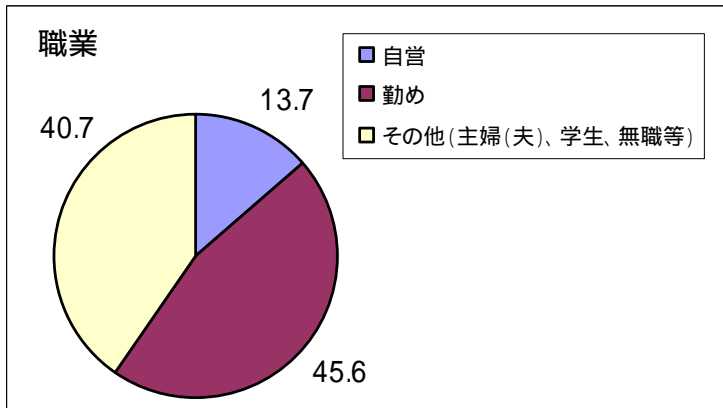
地域別では、「南相馬市」、「楡葉町」で「40～50 歳代」の回答が最も多く、「広野町」で「40～50 歳代」と「60 歳代以上」の回答が同数で最も多く、「双葉町」では「20～30 歳代」と「40～50 歳代」の回答が同数で最も多く、「新地町」では「20～30 歳代」と「60 歳代以上」の回答が同数で最も多かったが、それ以外の地域では「60 歳代以上」の回答が多かった。(SA、n=367)



#### ウ 職業

職業は、「勤め」が 45.6%、「その他（主婦（夫））、学生、無職等」が 40.7%、「自営」が 13.7%となった。

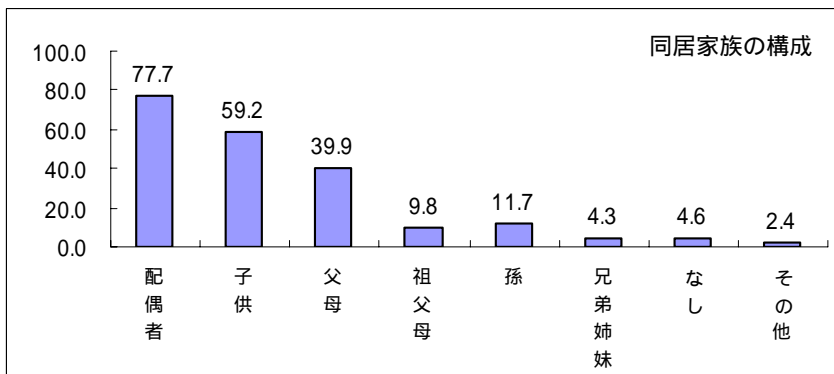
年代別では、「20～50 歳代」においては、「勤め」が最も多く半数以上を占めているが、「60 歳代以上」では、「その他（主婦（夫））、学生、無職等」が大半を占めた。地域別では、「南相馬市」、「新地町」、「飯館村」、「広野町」、「楡葉町」、「双葉町」では「勤め」が最も多く、「川内村」、「大熊町」では「勤め」と「その他（主婦（夫））、学生、無職等」が同数だったが、それ以外の地域では、「その他（主婦（夫））、学生、無職等」が最も多かった。(SA、n=364)



エ 同居している家族の構成

同居している家族の構成は、「配偶者」が77.7%、「子供」が59.2%、「父母(義父母)」が39.9%の順で多くなっているが、「祖父母(義祖父母)」が9.8%、「孫」が11.7%、「なし」が4.6%となった。

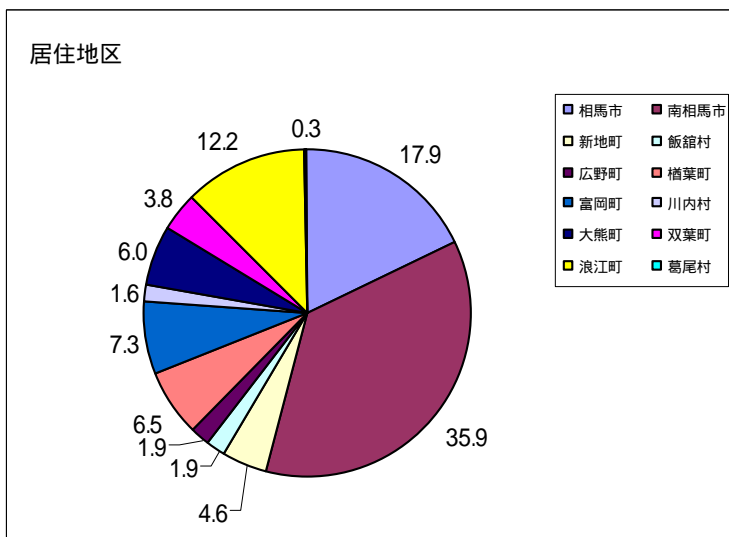
三世代又は四世代同居の家族は35.9%、60歳代以上の一人暮らしは2.2%、60歳代以上のみの二人暮らしは11.1%となった。(NA、n=772)



オ 居住地

居住地は、「南相馬市」が35.9%、「相馬市」が17.9%、「浪江町」が12.2%、「富岡町」が7.3%、「檜葉町」が6.5%、「大熊町」が6.0%、「新地町」が4.6%、「双葉町」が3.8%、「飯館村」「広野町」が1.9%、「川内村」が1.6%、「葛尾村」が0.3%となった。

年代別では、「20～70歳代」で「南相馬市」が最も多く、「80歳代以上」では「相馬市」が最も多かった。(SA、n=368)



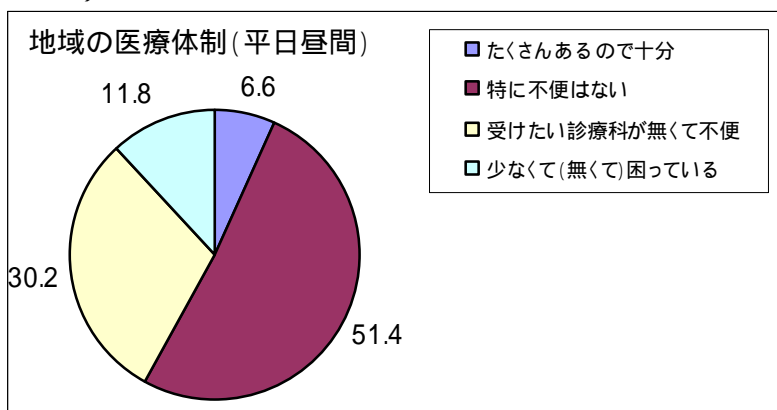
(2) 医療満足度

ア 平日（昼間）の医療体制に対する医療満足度

平日（昼間）の医療体制に対する医療満足度は、「たくさんあるので十分」が6.6%、「特に不便はない」が51.4%、「受たい診療科が無くて不便」が30.2%、少なくて（無くて）困っている」が11.8%となった。

満足・不満の傾向については、「たくさんあるので十分」と「特に不便はない」を合わせた「満足」とする傾向が58.0%、「受たい診療科が無くて不便」と「少なくて（無くて）困っている」を合わせた「不満」とする傾向が42.0%となった。

年代別では、すべての年代で「特に不便はない」が最も多く、比較的満足とする傾向は「30歳代」以外では半数を超えている。地域別にみると、比較的満足とする傾向が高い地域は、「南相馬市」、次いで「相馬市」、「双葉町」の順となった。一方、不満とする傾向が高い地域は「広野町」、次いで「川内村」、「大熊町」の順となった。（SA、n=364）

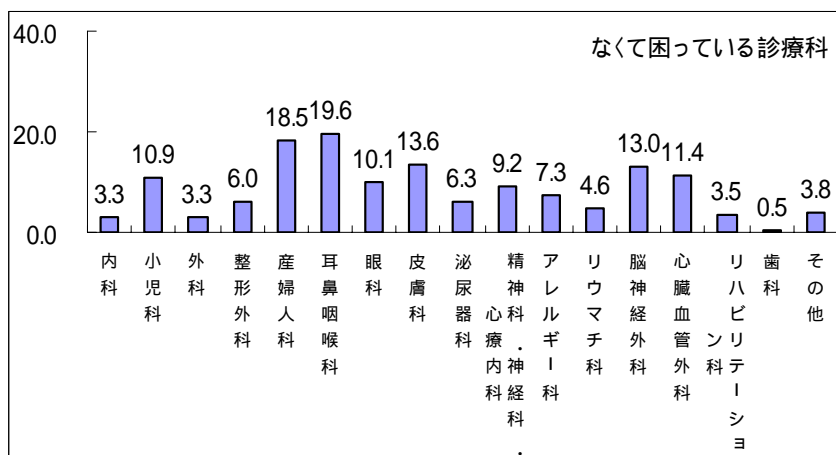


イ 平日（昼間）の医療体制に「受たい診療科が無くて不便」又は「少なくて（無くて）困っている」と感じる項目

平日（昼間）の医療体制に「受たい診療科が無くて不便」又は「少なくて（無くて）困っている」と感じる診療科は、「耳鼻咽喉科」が19.6%、「産婦人科」が18.5%、「皮膚科」が13.6%、「脳神経外科」が13.0%、「心臓血管外科」が11.4%、「小児科」が10.9%、「眼科」が10.1%などとなった。

年代別では、「20～30、50歳代」で「産婦人科」、「30～40歳代」で「耳鼻咽喉科」、「40、70歳代」で「脳神経外科」が数多く挙げられた。地域別では、「産婦人科」、「耳鼻咽喉科」、「皮膚科」、「小児科」、「脳神経外科」、「心臓血管外科」が高い値を示した。

(NA、n=533)

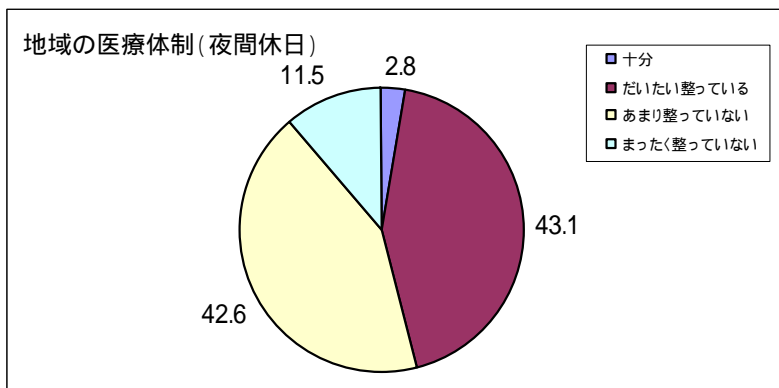


ウ 夜間・休日の医療体制に対する医療満足度

夜間・休日の医療体制に対する医療満足度は、「安心」が2.8%、「だいたい整っている」が43.1%、「あまり整っていない」が42.6%、「まったく整っていない」が11.5%となった。

満足・不満の傾向については、「安心」と「だいたい整っている」を合わせた「満足」とする傾向が45.9%、「あまり整っていない」と「まったく整っていない」を合わせた「不満」とする傾向が54.1%となった。

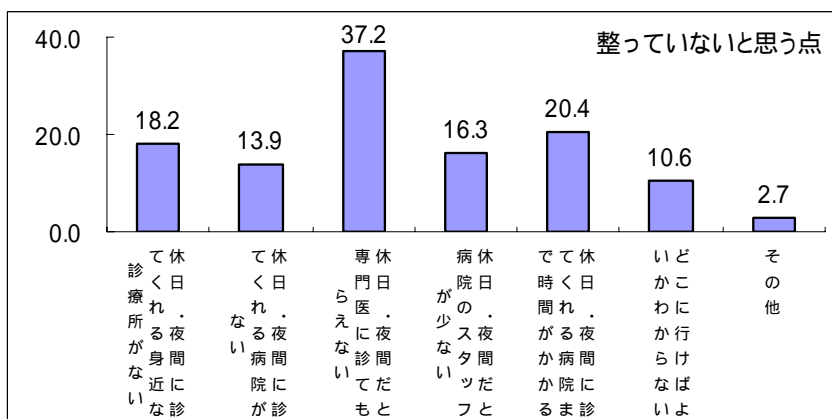
年代別では、「20歳代」では30%に満たないが、年代が上になればなるほど満足とする傾向が高くなり、「70歳代以上」は50%以上を占めた。地域別では、満足とする傾向が高い地域は、「南相馬市」、次いで「相馬市」、「富岡町」の順となった。一方、不満とする傾向が高い地域は「葛尾村」、次いで「飯館村」、「双葉町」の順となった。(SA、n=357)



エ 夜間・休日の医療体制で「あまり整っていない」又は「まったく整っていない」と感じる項目

夜間・休日の医療体制で「あまり整っていない」又は「まったく整っていない」と感じる点は、「専門医に診てもらえない」が37.2%、「診てくれる病院まで時間がかかる」が20.4%、「診てくれる身近な診療所がない」が18.2%、「病院のスタッフが少ない」が16.3%などとなった。

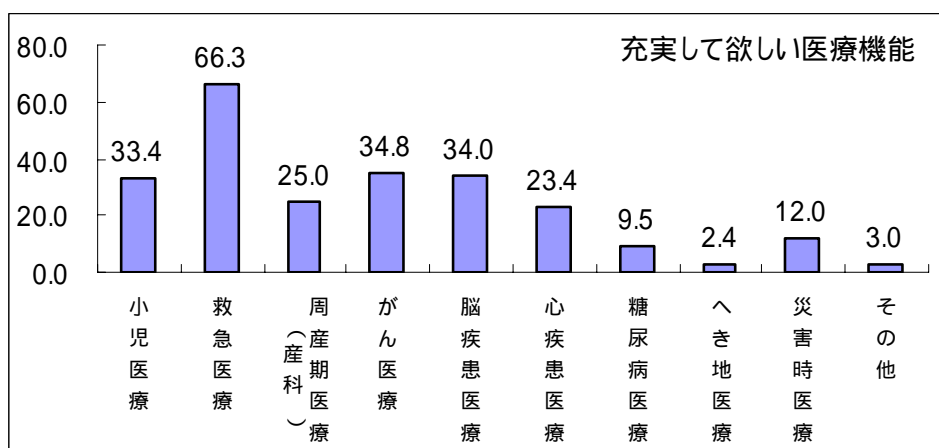
年代別では、「専門医に診てもらえない」がすべての年代で最も多く、「20歳代」で半数以上を占めた。「診てくれる病院まで時間がかかる」が、すべての年代で比較的高くなっており、「どこに行けばよいかわからない」が「20歳代」で30%以上を占めた。地域別では、すべての地域で「専門医に診てもらえない」が多くなっているが、「飯館村」では「診てくれる病院まで時間がかかる」が、「川内村」では「診てくれる身近な診療所がない」が、「葛尾村」では「どこに行けばよいかわからない」が最も多い回答であった。(NA、n=439)



オ 今後、充実してもらいたい医療機能

充実してもらいたい医療機能は、「救急医療」が66.3%、「がん医療」が34.8%、「脳疾患医療」が34.0%、「小児医療」が33.4%、「周産期医療（産科）」が25.0%、「心疾患医療」が23.4%などとなった。「災害時医療」も12.0%で比較的高い傾向にある。

年代別では、すべての年代で「救急医療」が最も多くなった。次いで「20～30歳代」では「周産期医療（産科）」「小児医療」のニーズが高い。すべての年代で「がん医療」「脳疾患医療」が比較的高い数値を示しており、「40歳代以上」で「心疾患医療」も高い傾向にある。地域別では、すべての地域で「救急医療」が最も多く、次いで「小児医療」のニーズが高い地域が多いほか、「周産期医療（産科）」「がん医療」「脳疾患医療」「脳疾患医療」も高い傾向にある。「広野町」で「糖尿病医療」が比較的高く、「富岡町」「大熊町」で「災害時医療」が比較的高い傾向にある。（NA、n=897）



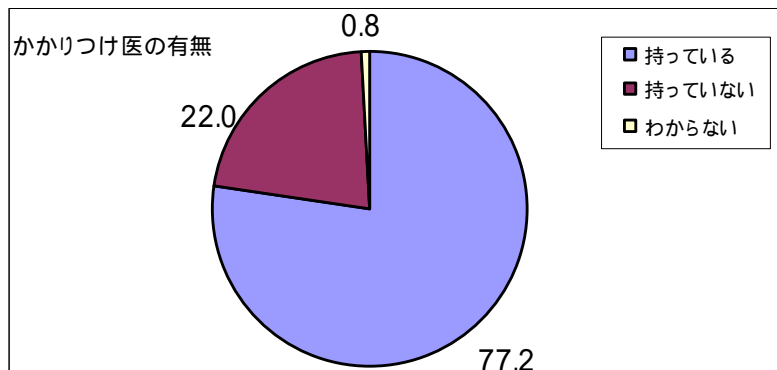


(3) 病院・診療所の利用状況

ア かかりつけ医の有無

かかりつけ医の有無は、「持っている」が 77.2%、「持っていない」が 22.0%となった。

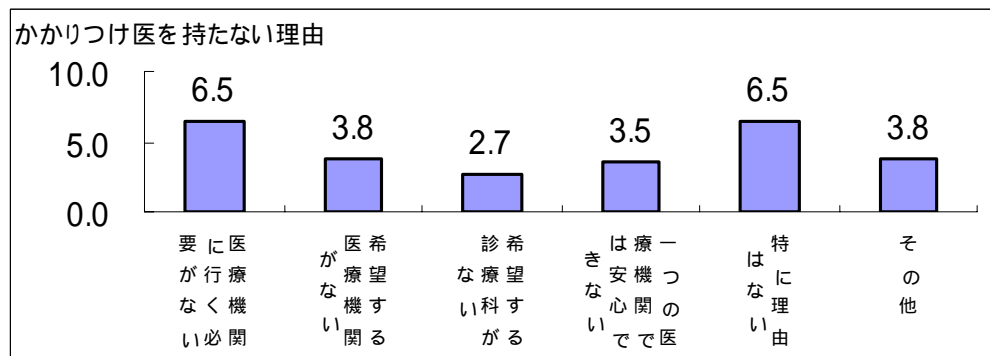
年代別では、「20 歳代」で「持っている」が半数未満となったが、「30 歳代以上」では、「持っている」が 7~9 割を占めた。地域別では、「持っている」は「新地町」の 58.8% が最も低い、それ以外は 6~10 割となった。(SA、n=368)



イ かかりつけ医を持たない理由

かかりつけ医を持たない理由は、「特に理由はない」「医療機関に行く必要がない」がともに 6.5%となった。

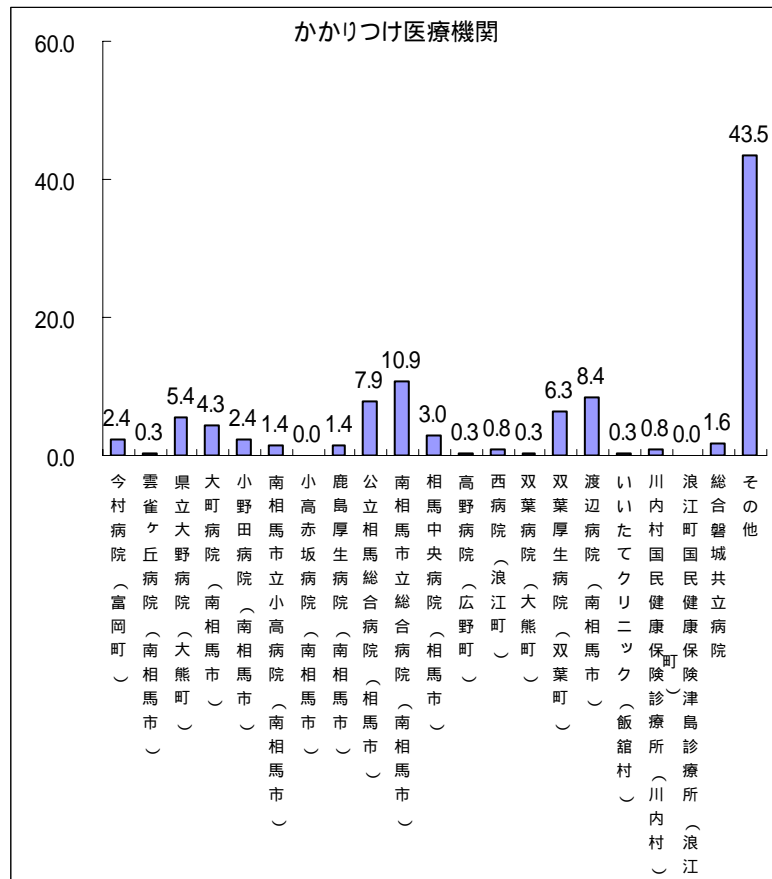
年代別では、「20 歳代」を中心に「特に理由はない」が多く、次いで「医療機関に行く必要がない」などが多い。地域別では、「相馬市」「新地町」「榎葉町」で「特に理由はない」が多く、「南相馬市」「双葉町」で「医療機関に行く必要がない」が比較的多くなった。(NA、n=99)



ウ かかりつけ医療機関

かかりつけ医療機関は、「南相馬市立総合病院」が 10.9%、「渡辺病院」が 8.4%、「公立相馬総合病院」が 7.9%、「双葉厚生病院」が 6.3%、「県立大野病院」が 5.4%、「大町病院」が 4.3%、「相馬中央病院」が 3.0%、「その他の開業医等」が 43.5%などとなった。

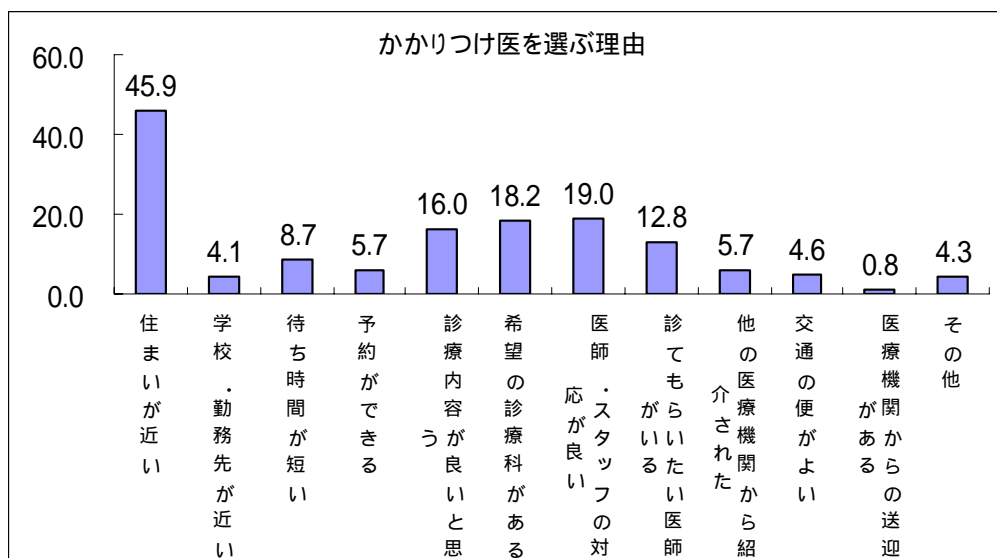
年代別では、「30 歳代」で半数を超えるなどすべての年代で「その他の開業医等」が最も多い。次いで「70 歳代」で「渡辺病院」が 22.2%になったほか、「公立相馬総合病院」が 18.5%、「南相馬市立総合病院」「相馬中央病院」が 14.8%、「鹿島厚生病院」が 11.1%となるなど、病院に行く割合が比較的高くなった。地域別では、「相馬市」「新地町」で「公立相馬総合病院」が最も多くなっており、「川内村」で「川内村国民健康保険診療所」、その他の市町村は「その他開業医等」が最も多くなった。(NA、n=374)



## エ かかりつけ医療機関の選択理由

かかりつけ医療機関の選択理由は、「住まいに近い」が 45.9%、「医師・スタッフの対応が良い」が 19.0%、「希望の診療科がある」が 18.2%、「診療内容が良いと思う」が 16.0%、「診てもらいたい医師がいる」が 12.8%などとなった。

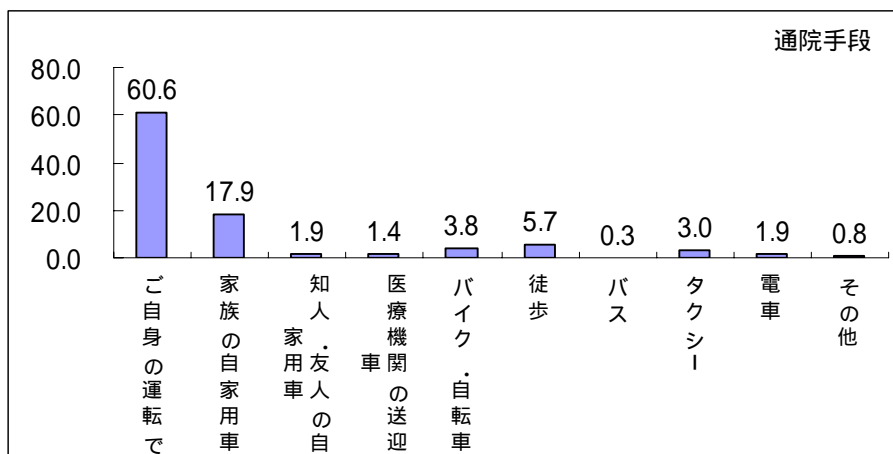
年代別では、すべての年代で「住まいが近い」が最も多く、次いで「30、50歳代」で「医師・スタッフの対応が良い」が、「60歳代」で「希望の診療科がある」が、「70歳代」で「希望の診療科がある」「診療内容が良いと思う」が多い。地域別では、すべての地域で「住まいが近い」が最も多く、次いで「医師・スタッフの対応が良い」、「診療内容が良いと思う」、「希望の診療科がある」が多い。「飯館村」で「医療機関の送迎がある」が比較的多かった。(NA、n=537)



### オ かかりつけ医療機関への通院手段

かかりつけ医療機関への通院手段は、「ご自身の運転で」が 60.6%、「家族の自家用車」17.9%などとなった。

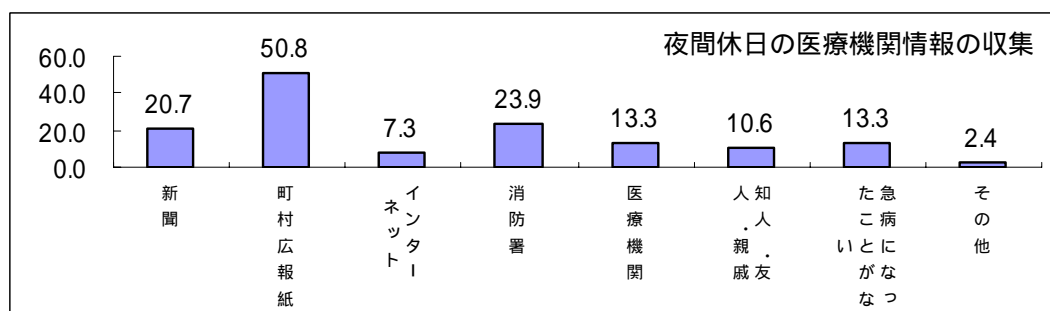
年代別では、すべての年代で「ご自身の運転で」が最も多いものの、「60～70 歳代」で「家族の自家用車」の割合が高くなる傾向がある。地域別では、すべての地域で「ご自身の運転で」が最も多く、次いでほとんどの地域で「家族の自家用車」が多かったが、「飯舘村」で「知人友人の自家用車」「医療機関の送迎車」が多く、「川内村」で「医療機関の送迎車」が、「広野町」「富岡町」「双葉町」で「徒歩」が比較的多かった。(NA、n=358)



### カ 夜間・休日の医療機関情報の収集

夜間・休日の医療機関情報の収集は、「町村広報紙」が 50.8%、「消防署」が 23.9%、「新聞」20.7%、「医療機関」「急病になったことがない」が 13.3%などとなった。

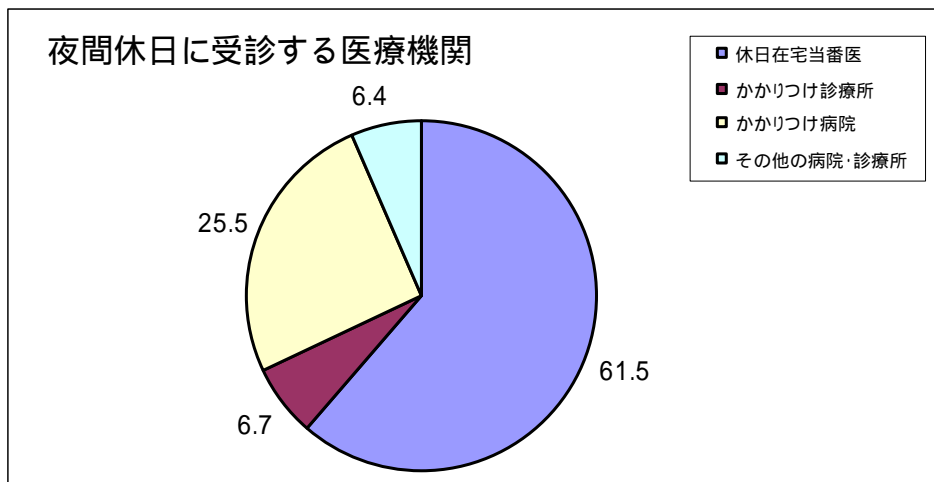
年代別では、すべての年代で「町村広報紙」が多くなった。「20 歳代」では「知人・友人・親戚」が比較的多く、「30～40 歳代」は「新聞」、「50～60 歳代」は「消防署」、「70 歳代」は「医療機関」も多かった。地域別では、すべての地域で「町村広報紙」が多くなっているが、「飯舘村」で「新聞」「消防署」が、「川内村」「大熊町」「浪江町」で「消防署」も多かった。「新地町」「浪江町」で「インターネット」の割合が比較的高かった。(NA、n=524)



キ 夜間・休日に利用する医療機関

夜間・休日に利用する医療機関は、「休日在宅当番医」が61.5%、「かかりつけ病院」が25.5%、「かかりつけ診療所」が6.7%、「その他(かかりつけ以外の病院等)」が6.4%となった。

年代別では、「20～60歳代」で「休日在宅当番医」が最も多く、「70歳代」では「かかりつけ病院」が最も多くなった。地域別では、「飯舘村」「広野町」を除くすべての地域で「休日在宅当番医」が最も多くなっているが、「飯舘村」は「かかりつけ病院」が、「広野町」は「かかりつけ診療所」が最も多くなった。(SA、n=330)

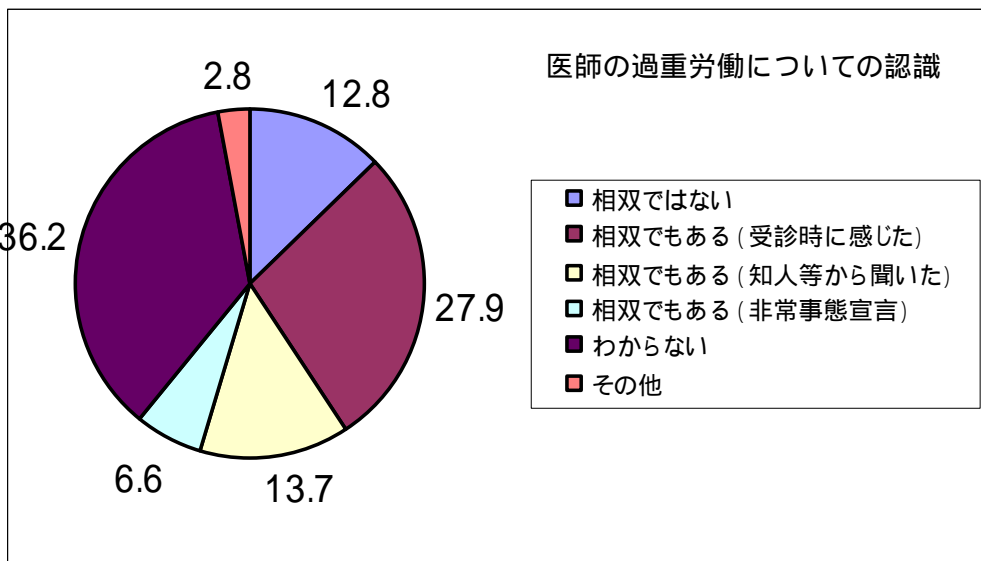


(4) 地域医療に対する意識

ア 医師の過重労働についての認識

医師の過重労働についての認識は、「わからない」が 36.2%、「相双地域では医師の過重労働はない」が 12.8%、「相双地域でも医師の過重労働がある（受診時に感じた）」が 27.9%、「相双地域でも医師の過重労働がある（知人等から聞いた）」が 13.7%、「相双地域でも医師の過重労働がある（非常事態宣言等）」が 6.6%となった。

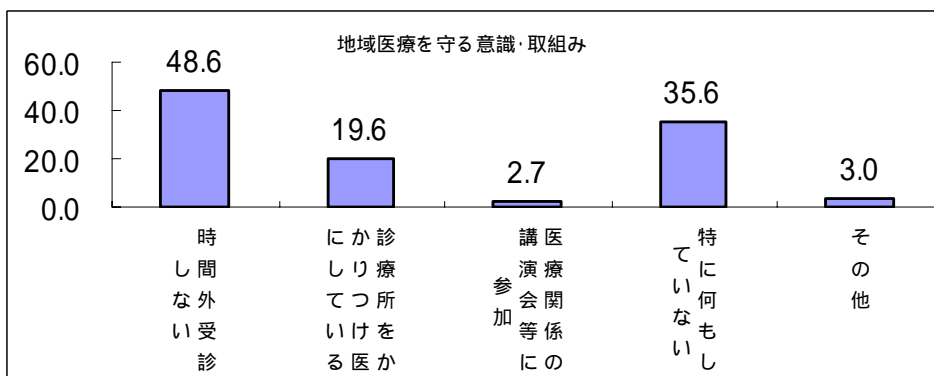
年代別では、「20 歳代」を除くすべての年代で「わからない」が最も多く、次いですべての年代で「相双地域でも医師の過重労働がある（受診時に感じた）」が多かった。地域別では、「新地町」「広野町」を除くすべての地域で「わからない」が最も多く、「南相馬市」「新地町」「広野町」で「相双地域でも医師の過重労働がある（受診時に感じた）」が最も多かった。(SA、n=351)



イ 地域医療を守るための意識・取組み

地域医療を守るための意識・取組みは、「時間外受診しない」が 48.6%で最も多く、「特に何もしていない」が 35.6%、「診療所をかりつけ医にしている」が 19.6%、「医療関係の講演会等に参加」が 2.7%となった。

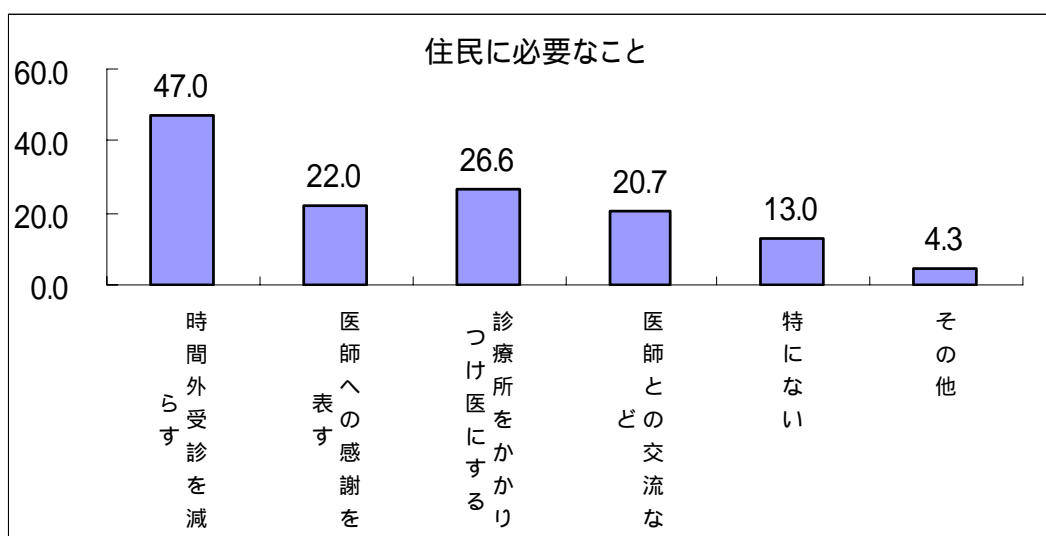
年代別では、若い年代ほど「特に何もしていない」の割合が高く、「20 歳代」で 66.7%を占めた。「40～60 歳代以上」で「時間外受診しない」意識が高くなった。「70 歳代」で「診療所をかりつけ医にしている」が最も多くなった。地域別では、「大熊町」「双葉町」で「特に何もしていない」が最も多く、それ以外の地域で「時間外受診しない」が最も多くなった。「新地町」「飯館村」で「特に何もしていない」「時間外受診しない」が同数で最も多くなった。(NA、n=403)



### ウ 医師の負担軽減のために住民にできること

医師の負担軽減のために住民にできることは、「時間外受診を減らす」が47.0%、「診療所をかかりつけ医にする」が26.6%、「医師への感謝を表す」が22.0%「医師との交流などにより地域医療への理解を深める」が20.7%などとなった。

年代別では、「20～60歳代」で「時間外受診を減らす」が最も多く、「20歳代」で併せて「医師への感謝を表す」「診療所をかかりつけ医にする」が、「70歳代」で「診療所をかかりつけ医にする」が最も多くなった。地域別では、「飯舘村」を除くすべての地域で「時間外受診を減らす」が最も多く、「川内村」で併せて「医師への感謝を表す」「診療所をかかりつけ医にする」が、「葛尾村」で併せて「医師への感謝を表す」が最も多くなった。「飯舘村」で「診療所をかかりつけ医にする」が最も多かった。(NA、n=492)

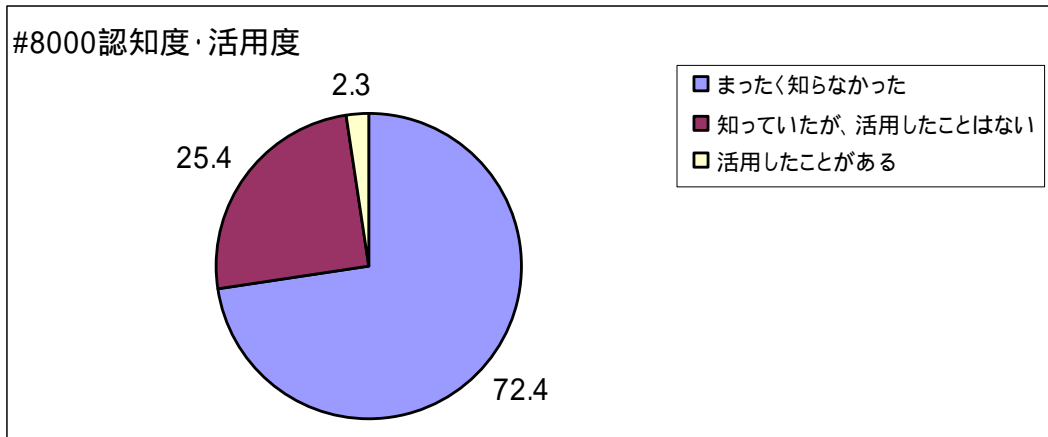


(5) 事業認知度

ア #8000の認知度・活用度

#8000の認知度・活用度は、「まったく知らなかった」が72.4%、「知っていたが、活用したことはない」が25.4%、「活用したことがある」が2.3%となった。

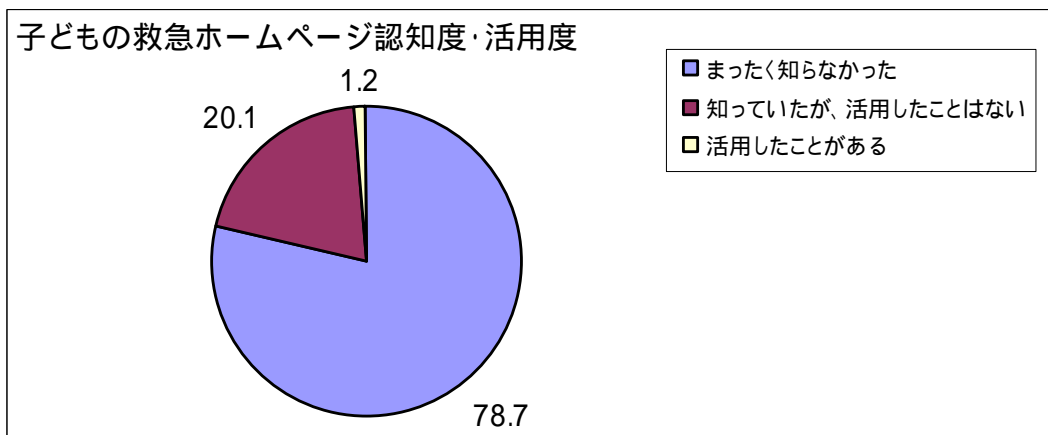
年代別では、すべての年代で「まったく知らなかった」が66%以上を占めて最も多く、また、それ以外の中でも「20～40、60歳代」で「活用したことがある」が若干あったのみで「知っていたが、活用したことはない」が大半だった。地域別では、すべての地域で「まったく知らなかった」が57%以上を占めて最も多かった。それ以外の中でも「南相馬市」「新地町」「富岡町」「浪江町」で「活用したことがある」が若干あったものの、「知っていたが、活用したことはない」が大半だった。(SA、n=351)



イ 子どもの救急ホームページの認知度・活用度

子どもの救急ホームページの認知度・活用度は、「まったく知らなかった」が78.7%、「知っていたが、活用したことはない」が20.1%、「活用したことがある」が1.2%となった。

年代別では、すべての年代で「まったく知らなかった」が73%以上を占めて最も多く、また、それ以外の中でも「20、40、60歳代」で「活用したことがある」が若干あったのみで「知っていたが、活用したことはない」が大半だった。地域別では、すべての地域で「まったく知らなかった」が57%以上を占めて最も多く、「南相馬市」「富岡町」で「活用したことがある」が若干あったものの、それ以外の中でも「知っていたが、活用したことはない」が大半だった。(SA、n=343)



## 地域医療の在り方に関する住民アンケート調査票

県では、相双医療圏における医療課題を解決するため、平成21年11月に策定した福島県地域医療再生計画に基づいて、救急医療体制の構築、在宅医療の充実強化等に係る事業を実施しています。

その中で、今後、地域医療について話し合う座談会や住民の皆様と医療従事者が参加する意見交換会等を開催して、地域が一体となって地域医療を守る取組みを支援するとともに、併せて住民アンケート調査を実施して、相双医療圏における受療動向等の実態を把握し、より効果的な事業実施を図っていきたいと考えております。

このアンケートは、日ごろ皆様を感じられている本地域の医療体制や医療ニーズなどを把握するとともに、地域医療の現状認識や事業の認知度等を調査することを目的に実施するものであります。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本アンケートにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年9月30日  
福島県保健福祉部長 阿久津 文作

### 地域医療とは

『包括医療（保健予防、疾病治療、後療法および更生医療）を、地域住民に対して社会的に適応し実践すること』と定義（佐久市立国保浅間総合病院の吉澤国雄氏）されてもいますが、医療を通じて、医師と地域住民が手を取り合ってより良い地域社会を築いていくことをめざすものです。

### 【ご回答にあたって】

#### ご記入等にあたってのお願い

1. ご回答にあたっては、**ご記入日における現状**をもとにご記入ください。
2. ご回答は、「 は1つだけ」「 はいくつでも」などの指定にしたがって、あてはまる番号に を付けてください。
3. ご記入済みの用紙は、同封の返信用封筒に入れ、**平成22年10月20日（水）**までにご投函くださいますようお願いいたします。

### 【問い合わせ先】

福島県 保健福祉部地域医療課 担当：馬場、山岸

〒960-8670 福島市杉妻町 2-16

T E L 024-521-7238

F A X 024-521-2191

E-mail iryou@pref.fukushima.jp



**あなたの性別・年齢・職業・居住地についておたずねします。**

問1 あなたの性別を教えてください。( は1つ)

1. 男性                      2. 女性

問2 あなたの年齢を教えてください。( は1つ)

1. 10歳代              2. 20歳代              3. 30歳代              4. 40歳代  
5. 50歳代              6. 60歳代              7. 70歳代              8. 80歳以上

問3 あなたの職業を教えてください。( は1つ)

1. 自 営              2. お勤め              3. その他(主婦(夫)、学生、無職等含む)

問4 あなたの同居している家族を教えてください。( はいくつでも)

1. 配偶者              2. 子供              3. 父母(義父母)              4. 祖父母(義祖父母)  
5. 孫              6. 兄弟姉妹              7. なし              8. その他( )

問5 あなたの住んでいる市町村を教えてください。( は1つ)

1. 相馬市              2. 南相馬市              3. 新地町              4. 飯館村              5. 広野町  
6. 楢葉町              7. 富岡町              8. 川内村              9. 大熊町              10. 双葉町  
11. 浪江町              12. 葛尾村

**医療満足度についておたずねします。**

問6 お住まいの地域の医療施設(病院・診療所)について、どのように感じていますか。該当する番号に をつけてください。( は1つ)

1. 医療施設はたくさんあるので十分  
2. 医療施設はあるので特に不便はない  
3. 医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便  
4. 医療施設が少なくて(無くて)困っている

問7 問6で「3. 医療施設はあるが、自分の受けたい診療科が無くて不便」又は「4. 医療施設が少なくて(無くて)困っている」と回答された方に伺います。

お住まいの地域に「無くて困っている診療科」は何ですか。該当する番号に をつけてください。( はいくつでも)

1. 内科                      2. 小児科                      3. 外科                      4. 整形外科  
5. 産婦人科                      6. 耳鼻咽喉科                      7. 眼科                      8. 皮膚科  
9. 泌尿器科                      10. 精神科・神経科・心療内科                      11. アレルギー科  
12. リウマチ科                      13. 脳神経外科                      14. 心臓血管外科  
15. リハビリテーション科                      16. 歯科                      17. その他(具体的に )

問8 お住まいの地域の休日・夜間における医療体制は、どの程度整っていると思いますか。該当する番号に をつけてください。( は1つ)

1. 安心して生活できるくらい整っている                      2. だいたい整っている  
3. あまり整っていない                      4. まったく整っていない

問9 問8で「3.あまり整っていない」又は「4.まったく整っていない」と回答された方に伺います。

どのような点が整っていないと思いますか。該当する番号に をつけてください。

( はいくつでも )

1. 休日・夜間に診てくれる身近な診療所( 医院 )がない
2. 休日・夜間に診てくれる病院がない
3. 休日・夜間だと専門医に診てもらえない
4. 休日・夜間だと病院のスタッフが少ない
5. 休日・夜間に診てくれる病院に行くまで時間がかかる
6. どこに行けばよいかわからない
7. その他( 具体的に )

問10 お住まいの地域の医療体制について、今後、より充実してもらいたい医療機能について、該当する番号に をつけてください。( はいくつでも )

1. 小児医療
2. 救急医療( 夜間・休日の医療 )
3. 周産期医療( 産科 )
4. がん医療
5. 脳疾患医療
6. 心疾患医療
7. 糖尿病医療
8. へき地医療
9. 災害時医療
10. その他( )

**病院・診療所の利用状況についておたずねします。**

問11 日ごろ、病気・ケガの時に行くことを決めている「かかりつけ医」をお持ちですか。( は1つ )

1. 持っている
2. 持っていない
3. わからない

問12 問11で「2.持っていない」と回答された方に伺います。

持っていない理由について教えてください。( はいくつでも )

1. 医療機関に行く必要がないから
2. 希望する医療機関がないから
3. 希望する診療科がないから
4. 一つの医療機関では安心できないから
5. 特に理由はない
7. その他( )

問13 問11で「1.持っている」と回答した方に伺います。

「かかりつけ医」は次のどの医療機関ですか。該当する番号に をつけてください。( は主なもの2つまで )

1. 今村病院( 富岡町 )
2. 雲雀ヶ丘病院( 南相馬市 )
3. 県立大野病院( 大熊町 )
4. 大町病院( 南相馬市 )
5. 小野田病院( 南相馬市 )
6. 南相馬市立小高病院( 南相馬市 )
7. 小高赤坂病院( 南相馬市 )
8. 鹿島厚生病院( 南相馬市 )
9. 公立相馬総合病院( 相馬市 )
10. 南相馬市立総合病院( 南相馬市 )
11. 相馬中央病院( 相馬市 )
12. 高野病院( 広野町 )
13. 西病院( 浪江町 )
14. 双葉病院( 大熊町 )
15. 双葉厚生病院( 双葉町 )
16. 渡辺病院( 南相馬市 )
17. いいたてクリニック( 飯館村 )
18. 川内村国民健康保険診療所( 川内村 )
19. 浪江町国民健康保険津島診療所( 浪江町 )
20. 総合磐城共立病院( いわき市 )
21. その他の病院・診療所( 開業医等 )

( 医療機関名 :

所在市町村名 : )

問 14 問 13 で つけた医療機関を選んだ理由について教えてください。

( はいくつでも )

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| 1 . 住まいから近いから       | 2 . 学校・勤務先から近いから   |
| 3 . 待ち時間が短いから       | 4 . 予約ができるから       |
| 5 . 診療内容が良いと思うから    | 6 . 希望の診療科があるから    |
| 7 . 医師・スタッフの対応が良いから | 8 . 診てもらいたい医師がいるから |
| 9 . 他の医療機関から紹介されたから | 10 . 交通の便がよいから     |
| 11 . 医療機関からの送迎があるから | 12 . その他 ( )       |

問 15 問 13 で つけた医療機関への通院手段を教えてください。( はいくつでも )

- |              |             |                |        |
|--------------|-------------|----------------|--------|
| 1 . ご自身の運転で  | 2 . 家族の自家用車 | 3 . 知人・友人の自家用車 |        |
| 4 . 医療機関の送迎車 | 5 . バイク・自転車 | 6 . 徒歩         | 7 . バス |
| 8 . タクシー     | 9 . 電車      | 10 . その他 ( )   |        |

問 16 夜間や休日などに急病のときに受診可能な医療機関の情報はどこから得ていますか。該当する番号に をつけてください。( はいくつでも )

- |             |              |                 |         |
|-------------|--------------|-----------------|---------|
| 1 . 新聞      | 2 . 市町村広報紙   | 3 . インターネット     | 4 . 消防署 |
| 5 . 医療機関    | 6 . 知人・友人・親戚 | 7 . 急病になったことがない |         |
| 8 . その他 ( ) |              |                 |         |

問 17 夜間や休日などに急に病気やケガをした場合、主にどの医療機関を利用しますか。該当する番号に をつけてください。( は主なもの 1 つだけ )

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| 1 . 休日在宅当番医又は休日夜間急患センター |            |
| 2 . かかりつけ診療所 ( 開業医等 )   |            |
| ( 医療機関名 :               | 所在市町村名 : ) |
| 3 . かかりつけ病院             |            |
| ( 医療機関名 :               | 所在市町村名 : ) |
| 4 . その他の病院・診療所 ( 開業医等 ) |            |
| ( 医療機関名 :               | 所在市町村名 : ) |

**地域医療の現状認識等についておたずねします。**

問 18 近年、病院勤務医など地域医療に携わる医師の負担が増大し、医師の過重労働が言われていますが、相双地域ではどのような状況にあると認識していますか。該当する番号に をつけてください。( は主なもの 1 つだけ )

- |   |             |
|---|-------------|
| 1 . 相双地域では医師の過重労働はないと思う                 |             |
| 2 . 相双地域でも医師の過重労働があると医療機関を受診した際に感じた     |             |
| 3 . 相双地域でも医師の過重労働があると知人等から聞いたことがある      |             |
| 4 . 相双地域でも医師の過重労働があると市の非常事態宣言等で聞いたことがある |             |
| 5 . 分からない                               | 6 . その他 ( ) |

問 19 地域医療を守るために、何か意識したり取り組んだりしていることはありますか。

該当する番号に をつけてください。( はいくつでも)

- 1 . できる限り夜間や休日などの時間外受診をしないように意識している
- 2 . はじめから病院に行かず、診療所(開業医等)をかかりつけ医にしている
- 3 . 医療関係の講演会等に参加した
- 4 . 特に何もしていない
- 5 . その他( )

問 20 今後、地域医療に携わる医師の負担を軽減し、地域で働き続けてもらうために住民側に必要なことについてどのようにお考えでしょうか。該当する番号に をつけてください。( はいくつでも)

- 1 . 夜間や休日などの時間外受診を減らす努力
- 2 . 医師への感謝を表すこと
- 3 . 診療所(開業医等)をかかりつけ医にすること
- 4 . 医師との交流などにより地域医療への理解を深めること
- 5 . 特にない
- 6 . その他( )

**電話相談事業や役に立つホームページの認知及び活用についておたずねします。**

問 21 「福島県子ども救急電話相談 #8000」についてご存知でしたか。また、活用したことがありますか。該当する番号に をつけてください。( は1つ)


- 1 . まったく知らなかった
- 2 . 知っていたが、活用したことはない
- 3 . 活用したことがある

**福島県子ども救急電話相談 #8000 又は 024-521-3790 (受付:午後7時~翌朝8時)**

短縮番号 **#8000** 又は 024-521-3790 をプッシュして、小児科医師・看護師からお子さんの症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスを受けられます。

問 22 福島県「子どもの救急についてホームページ」についてご存知でしたか。また、活用したことがありますか。該当する番号に をつけてください。( は1つ)

- 1 . まったく知らなかった
- 2 . 知っていたが、活用したことはない
- 3 . 活用したことがある

**福島県「子どもの救急についてホームページ」** **福島県子ども救急** **検索** 

子どもの救急について知っておきたい知識をまとめたパンフレットがダウンロードできます。対象年齢生後1カ月~6歳までのお子さんについて、夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安を提供する日本小児科学会のホームページにもリンクしています。

パソコンからのみで携帯電話からは見られません

医療体制や医療サービスに関して、ご意見があれば自由にご記入ください。

ご協力ありがとうございました。